

ラジコンワールド

No.203

2012 November

¥680yen

11

短期集中連載
スタート!

ボディペイント
特別講座

by
Takashima Design

Super Paint Technique Lectured by Takashima Design

2012年の下半期をにぎわす
「目玉アイテム」はコレだ

タミヤ&京商のホビーショー
出展モデルをキャッチ!

[M-06R] / [SUBARU BRZ R&D SPORT] / [VW GOLF24]
[PLAZMA FORMULA] / [MINI-Z Racer・MR-03 VE]



エキスパートに学ぶ
走りに効く

セッティング&ドラテク

特集◎

速く

なりたい

速く

なりたい!

Track

Track



ストロークが十分に確保された金属ケースのオイルダンパー。前後ダンパーは高剛性な樹脂製となる。



シャシーのリア後部はディフューザー形状にデザインされている。実際の空力的効果はともかく、遊び心を感じさせる形状だ。



フロントビュー



リアビュー

デルタS4の特徴を巧みにとらえたボディの仕上げ。フロントの追加ヘッドライトとサイドミラーは別パーツのため、立体感が高められる。前後ライトケースには市販のLEDユニットを組み込むこともできる。

まだまだ止まらない NEWモデルラッシュ。今月も盛りだくさんだ!

天気はイイけど少々暑すぎた季節も終わり、R/Cを楽しむにはもってこいの気候となった。そんなシーズンを迎えるにあたって、各社から数多くのNEWモデルが続々登場! まずは伝説のラリーカーから紹介していこう。

グループB規定の最後を飾る 驚速マシンをモデル化

'85年の世界ラリー選手権(WRC)最終戦にデビューしたイタリアの名門、ランチア社製「デルタS4」は、そのレースで優勝を飾ると、続く'86年シーズンでも驚異的なスピードを發揮してみせた。当時のグループB規定に合わせて製作されたこのマシンは、公道を走るラリーマシンとしては不釣り合いなほどのパフォーマンスを搭載し、猛烈な速さを武器にライバルのマシンとわたりあった。結果的に速すぎるグループBマシン規定は、安全面の問題が露見してこの年をもって終了した。そうした理由もあり、デルタS4は最後のモンスターラリーカーとしてファンの記憶に残った……。

そんなマシンが21世紀の現代に1/10スケールR/Cカーでよみがえった。実車と同じイタリアのITALTRADING社が展開する「ラリーレジェンド」ブランドからリリースされるこのデルタS4は、同ブランド初のボディ付きシャシーキットでの販売となり、プロククタイヤなども付属する。シャフト式4WDシステムを採用したシャシーは、きわめてオーソドックスなデザインでまとめられており、樹脂製スタブ方式のメインシャシーに前後ダブルウィッシュボーンサスペンションが組み合わされる。ダート走行にも対応するラリーマシンだけに、車高は高めの設定となるが、これは主に付属するプロククバッテリーのハイタートによってかせがれている。メカ類を搭載するスペースはオープンタイプとなるものの、前後キヤボックスは密閉式となっていてダート走行時の異物の侵入を防止する。ボディはすでに販売が開始されているラリーレジェンドシリーズのものが付属し、ペイント&デカール貼りは工場完成済み。購入後は塗装作業を行うことなく、短時間で走行を楽しむことができる。

NEW MODEL FLASH

Brand New Item Pick Up!



ボディ本体と別売の樹脂パーツで再現された大型のリアスポイラー。実車と同様の独特な形状が採用され、走行時のリア安全性を高める。

New Model 01

新ブランドから登場の モンスターラリーモデル

THE RALLY LEGENDS
Lancia Delta S4
Biasion 1986

価格未定
問い合わせ/アスカクリエート
phone 072-292-5220
text/A.Hasegawa 長谷川 敦
photo/Y.Takagi 高木克宗



リアのバンパー下部がすっぱりと切り取られたボディ形状も実車を模したものだ。スケール重視ながら、ジャンプからの着地の際に路面と接触することがなく、空力特性上でもメリットが得られる形状だ。